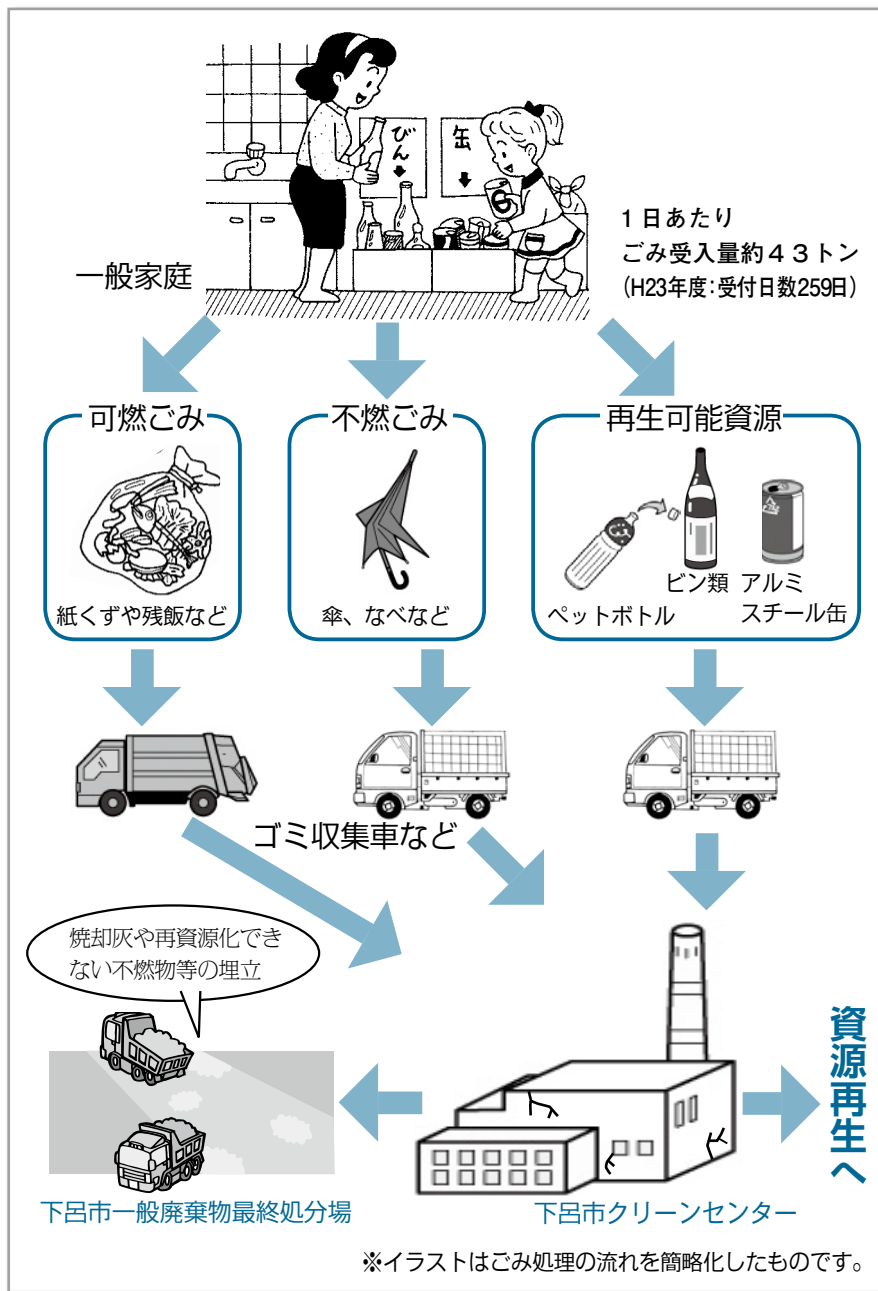


下呂市のごみ処理事業について

～わたしたちの日常生活に欠くことのできない、大切なこと～



一般的に、市民のみなさんのご家庭から排出される「家庭ごみ」や、各事業所から出される「事業系ごみ」は、分別ルールにより分けられ、収集運搬車両が回収して、クリーンセンターへ搬入しています。(直接持ち込むことも可)

クリーンセンターでは、収集されたごみの種類ごとに処理されていきます。可燃ごみは焼却炉で燃やして処理。再生可能資源はリサイクルされていきます。

今、わたしたちの住む下呂市では、旧益田郡のころに建設されたごみ処理施設の「下呂市クリーンセンター」(平成5年供用開始)が、20年目を迎えるようとしていきます。施設の更新時期に到達し、移転建設が重要な課題となっています。

既に「広報げろ 5月号」でお知らせしましたように、下呂市新クリーンセンター用地の検討委員会では、建設候補地の選定について話し合いを重ねてきましたが、受け入れ先がなく、すべて「白紙」の状態となっていました。

わたしたちの暮らしの中で、最も身近な行政サービスである「ごみ処理事業」。よりよい施設建設のため、皆さまのご協力をお願いいたします。

欠くことのできない

重要な施設

平成23年度に、下呂市のごみ処理施設で受け入れた「総ごみ量」は1万1076トン(年間1人当たり300キロ)で、その内の9割以上が可燃ごみです。

この可燃ごみを焼却するための施設の耐用年数は、一般的に15年から20年といわれています。更新時期を迎えるクリーンセンターにかかる維持修繕費は、ここ5年間で約8億8千万円にもなります。

市民から「家の近くに処理施設があるのはいやだなあ」「ダイオキシン類が心配だ」との声も寄せられています。

移転建設となる焼却施設の安全性や、周辺地域に及ぼす影響(収集運搬車両の往来、におい、健康被害など)を心配されるかもしれません。そういった不安や疑問、お知りになりたいことを是非お寄せください。

欠くことのできない重要な施設だからこそ、みなさんと一緒になって取り組むことが必要と考えています。

26・33367

【環境部・環境施設課】

下呂市を彩る真夏の祭典

が市内各地で
開催されました

(今月号は下呂・萩原・金山 ※小坂・馬瀬は来月号に掲載)

8月は市内各地で夏を彩るイベントが開催されました。

市町村合併から8年が経ちましたが、それぞれの地域で行われている「お祭り」を知らない方も意外と多いようです。夏の暑さにも負けなくらいの熱気と感動に包まれた「お祭り」を、今月号と来月号にわたりご紹介します。



温泉街で打ち上がる、
花火ミュージカル



龍神の勇壮な舞!

8月1〜4日

下呂温泉まつり

初日に開催した「龍神火まつり」では、5つの区から総勢500名以上もの出演があり、サランにパッチ姿の若衆が龍体を担ぎ、温泉街を乱舞しました。2日は湯の華みこし・下呂おどり。3日は下呂温泉花火ミュージカル夏公演・下呂おどり。4日は歌塚供養祭・歌謡祭などが行われ、多くの観光客を魅了しました。

8月7〜9日

ふるさと萩原夏まつり

期間中は七夕飾りが街を彩り、初日の呼び物の「綱引き大会」では、商店街のど真ん中で仮装をした10人の選手が、区の代表として真剣勝負を繰り広げました。

8日は「萩原連れみこし行列」や「御前太鼓」、9日は「ミュージックフェスティバル」が商店街で開催されました。



綱引きでも、なでしこ
ジャパンが登場!



みんなで楽しく「ワッショイ!」

8月13日

飛騨金山夏まつり

激しい雨が降り、開催も心配されましたが、日程どおり「横谷峽滝まつり」が行われ、帰省している家族連れなど500名がマスやアマゴをつかみどりにして歓声を上げていました。

また、「黄金姫の郷音楽祭」や金山中ブラスバンドの演奏、白龍太鼓の演奏などの催しがあり、フィナーレの花火大会も、大勢の観客で賑わいました。



魚を追いかけて、
大人も子供も夢中



商店街に黄金姫が登場

★おめでとう (敬称略)

第39回全日本中学校陸上競技選手権大会出場

(会期・8月19日〜22日)

(会場・千葉県千葉市)

▽200m・小池譲也(下呂中3年)▽100mH・市村紅葉(金山中2年)

第34回東海中学校総合体育大会出場

(会期・8月9日〜11日)

(会場・静岡県掛川市、袋井市)

▽バレーボール男子・萩原南中▽卓球団体男子・下呂中▽卓球個人・二村有律(下呂中3年)

▽同・日向隼秀(同3年)

▽400m・石丸進也(萩原南中3年)▽3000m・塚中米都(同3年)▽200m・小池譲也(下呂中3年)▽棒高跳・吉田幸志郎(同2年)▽110mH・奥村拓実(金山中3年)▽100mH・市村紅葉(同2年)▽1500m・亀山茜(同2年)

9月6日は「救急の日」

15日は救急医療週間
救命講習に参加して、応急
手当を覚えましょう!